

MSC スプレンドィダの横浜発着クルーズ(2)

事務局長 池田良穂

横浜港のレストラン船「ロイヤルウィング」を降りて、大棧橋からシャトルバスで大黒ふ頭に移動しました。途中のベイブリッジの上から、「MSC スプレンドィダ」の写真を撮りましたが、20枚ほど連写した中で1枚のみ、橋げたの支柱の中に船の姿がぴったり納まりました。

大黒ふ頭では、蒲鉾型のターミナルの中で受付がありました。パスポートを預けて、顔写真を撮影してもらおうとクルーズカードがもらえました。手続きはこれだけで、結構簡単に終わりました。出国は、2つ目の寄港地の青森ですので、パスポート検査はありません。ターミナルから船体の中央付近の舷門までは炎天下を徒歩となりましたが、全長 333m あるので結構な距離です。

乗船すると、まず船内で荷物の X 線検査があり、階段を上がってパブリックスペースに入ります。ウェルカムドリンクはありませんでした。予約をしていた船尾の左舷側のキャビンは、ツインベッドと、ダブルのソファベッドで4人まで入れます。3人目からは格安料金です。スーツケースは部屋のドアの外にすでに置かれていました。

さて、船内に入った第一印象は「トラディショナルで重厚」。調度品が立派で、椅子は重くて移動にひと苦勞するほど。欧州のオーナーらしいデザインかもしれません。一方、吹き抜けのロビーの螺旋階段は、半透明できらきらとした踏板で、華やかな雰囲気でした。

今回は2人の孫を連れてのクルーズで、船内は子供にはやや重厚すぎる感じが否めませんが、建造9年目とまだ新しいので、これから8日間のクルーズが快適に過ごせそうです。

16時半から避難訓練。コスタ・コンコルディアの海難から、必ず出港前に実施することが義務付けられています。しかし、大棧橋からの最終バスか付いたばかりの時間帯なので、全員は揃いません。参加できなかった乗客の避難訓練が、夜の10時頃にありました。さて、最近の大型クルーズ客船の避難訓練では、キャビンから救命胴衣を持参する必要がない船が増えていますが、MSC スプレンドィダは、従来スタイルで、避難信号を聞いたらキャビンに戻って、救命胴衣を持って指定のマスター・ステーションに向うことになっていました。しかも、その名称はアッセンブリー・ステーションとなっていました。緊急時の大事な場所の名前ですので、このあたりの英語表示は国際的に統一した方がよさそうです。

17時過ぎに「にっぽん丸」が出港していくのをベランダから見送りました。そして、いよいよ出港30分前から、プールサイドで出港パーティが始まりました。賑やかな音楽に乗せて、クルーズスタッフが乗客を盛り上げていきます。18時にいよいよ出港しました。次の寄港地は、北海道の室蘭です。

18時半からシアターで、夕食がセカンドシーティングの乗客のためのショーがありました。司会をする人の称号がマスター・オブ・セレモニーというのも初耳でしたし、シアター内が飲食禁止で、飲み物の販売もないのも初めてでした。よく考えれば、ヨーロッパの劇場では飲食禁止で、観劇に集中するのが普通です。MSCはあくまでヨーロッパ基準でクルーズソフトを構成しているということなのでしょう。

20時からセカンドシーティングの夕食が始まりました。ファーストシーティングは17時半からと、少し早すぎるので遅い夕食時間を選びました。イタリアの夕食は、普通は20時から21時くらいから始まりますので、いたって普通の時間帯ということになります。夕食の時間帯は、北ヨーロッパは早く、南ヨーロッパは遅いので、ファーストは北、セカンドは南ヨーロッパ基準ということになりそうです。



大栈橋から大黒ふ頭へのシャトルバスの窓から、ベイブリッジを通過時に撮影した「MSC スプレディダ」の連射写真の1枚が、かろうじて全景写真となりました。



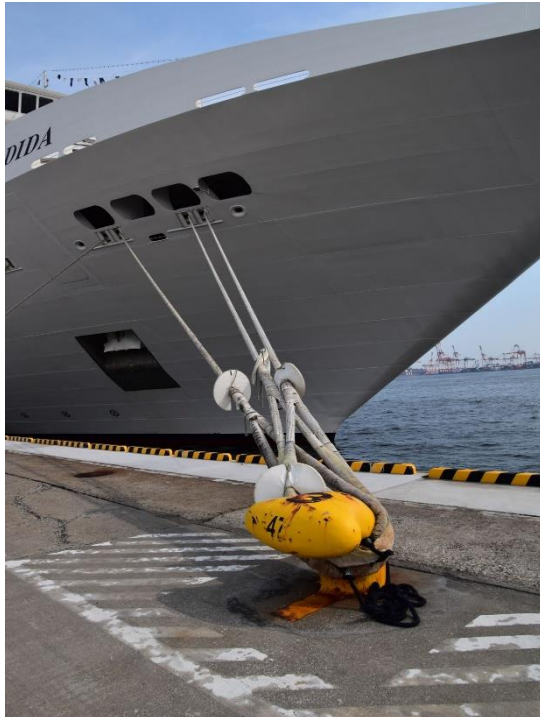
テント状のクルーズターミナル内で、乗船受付がありました。



大栈橋から大黒ふ頭まで乗客と荷物を大量輸送していました。



乗船手続きが終わると、乗客は岸壁を 200m ほど移動して船の中央付近のギャングウェイから乗船します。



係船網には、ネズミ進入防止のためのラットガードが取り付けられていました。



いよいよ乗船です。



船内で MSC のキャラクターと記念写真



左舷のベランダ付キャビン。反航船の撮影には欠かせない船室です。



船上から見た横浜大黒ふ頭のクルーズターミナルの全景です。丸屋根の建物が乗客の受付用、右の建物が荷物の通関用でした。岸壁はクルーズ客船専用ではなく、自動車船との共用となっています。



一足先に、「にっぽん丸」が出港していきました。



デッキでの出港パーティの様子です。これを見ると現代クルーズ船には、港側の見送りイベントは不要なことがわかります。



イッツ・ザ・ショータイム!! ファーストシーティングの乗客のためのショーは18時半から始まりました。



きらびやかな吹抜けロビーの様子です。



サンデッキのプールは、基本的に大人用で、子供客を意識した造りにはなっていません。